1.今年の様な魚の接岸しなかつた為予想しない不漁だくではおぼつかないわけです。 楽事近代化されつくあつて昔のま

(1)

す。

然しその反面急に多数の経営者で進出すること

業に出漁される様になつてきた。

隻、そのうち魚津だけで二十隻下五一下……に経営者も多くなつている。今年富山県からは約五十くは他に雇傭される所謂出稼が多かつたが、近年非常くは他に雇傭される所謂出稼が多かつたが、近年非常

で、それだけに毎年あげる收益も大きな金額になりまら他に比較して魚津と北海道とは深い関係にあるわけ隻、そのうち魚津だけで二十隻下新川郡で二十隻だか

府県からもどしく〜鮭鱒、鳥賊、タラ、マグロ等の漁稼漁業も昭和二十四、五年頃から再び盛んになつて他られるようになつた。戦後一時的にとんざしていた出の発達は年と共に盛になり富山湾だけでは狭溢を感ぜ近年富山湾に獲れる魚獲高は次第に低下し遠洋漁業

क

行 発 魚津市役所

施

尾 の

各家

庭

調

査

員 11

:構造、

腐朽破損の程

人が居住している住宅

所に

口刹慈興院大德寺

(五) の

カ

あ

V)

£

(毎月1日 15日発行)

魚津市荒町

小浜印刷所

魚津市田方町80番地 秘 書 人 事 課 編輯発行人 清河七良

にいろ〳〵と、漁業と北海道、北海道と魚津の関係、将来の漁業について話してた仝組合 組合長 島崎藤左衛門 仝 専務理事 中島長治 経営者浜多勝太郎の各氏 下約二十隻が遠く北海道沖合へ出漁した。今お盆を期に一時故郷魚津市へ帰られて、八百名も出漁者がある、今年も鮭鱒漁業協同組合に隷属する多数の経営者の北海道と富山県とくに魚津市とは水産関係に於ても密接な関係にあり、毎年約 北海道出漁の狀況 化 と方 が

の振興にあることはすでにする上において忘れることができないのは、有畜農業ができないのは、有畜農業 当市として、これを活用す である。 高度に利用することが急務 ると共に、更に牧野として の飼料資源を包含している 万人の認めるところであつの振興にあることはすでに 今回地元民の熱意ある要 特に広大なる山林原野

以にまたがる三五町歩に放 以にまたがる三五町歩に放 以にまたがる三五町歩に放 以にまたがる三五町歩に放 を実施しました。 放牧場につ 年々

度されなかつたのである。 一年前より放牧されたので 大きなが、そこで生産された。 たるが、そこで生産された。 たるが、そこで生産された。 たるは、そこで生産された。

土性が酸性が强いので牧野 やが生え繁り杉も若干あり やが生え繁り杉も若干あり は炭カリの施用が必要ですを改良するためには石灰又

良と飼料木(英国アカシャ東との資本で、先づ酸性土壌の改ませなければなりません。先づ酸性土壌の改ません。 青島アカシヤ、イタチハギン

播種等を行う予定である。 バー、ラジノクロバー)の フエクス三一、レツトクロ の値付牧草(ケンタッキー

する市長

に於ける我等の耳目となる 又方向探知機は、自己の 敬務に十二分に活動が 自由に知られるから、自 己の職務に十二分に活動が 出来る。

建築中以外の住宅につい

放牧した仔牛

船は鮭鱒漁業に是非なくてはならぬ。 ※には技術の面である。技術の優劣は漁獲に大きな 影響があるのは勿論であるが、長年月の経験から一種 影響があるのは勿論であるが、長年月の経験から一種 影響がある。或は漁場の権利の問題等解決し難い幾つ 時から鍛え挙げた腕と経験を以て、船主になれば必ず はい成績が挙げ得られると思う。然しこれには資金の がある。或は漁場の権利の問題等解決し難い幾つ かの諸問題がある。是等は市の協力に依り、或は現在 かの語言題がある。是等は市の協力に依り、或は現在 かの語言題がある。是等は市の協力に依り、或は現在 かの語言題がある。と思うでも前進させて欲しい と思う。

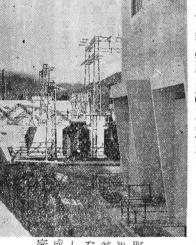
と視察

去る七月五日完成、運転をは、大気会社の自家発電所で、くれば電力不足を解決するために昭和二十七年四月十七年四月十七年四月十七年四月十七年四月十七年四月十七年十七年十七年十七年十七年十七年十七年十七年十七年 て一きわ印象的だ。

家 島 発 電

亜の近代式建物は緑に映え山頂のサージタンクと白 完

大田力七、〇〇〇KW、常時と労務者延二十二万人を使と労務者延二十二万人を使せるれたもので、最 ○○KWの出力を有するも 一、九〇〇氏以、平均四、六



無単市だけでも一億五千万円も水揚されると言われる魚津市の出漁団の成績は船主、船頭、漁夫の三者一く機関の漁場を尋ねて、一〇〇哩一〇〇哩の海上を機関の漁場を尋ねて、一〇〇哩一〇〇哩の海上を機関の漁場を尋ねで、一〇〇哩一〇〇哩の海上を機関の漁場を尋ねで、一〇〇哩一〇〇哩の海上を機関の漁場を尋ねで、一〇〇里一〇〇哩の海上をがありたない。特に船頭は漁獲や漁夫の責任があるので非常な苦労を為さねばならぬ。ばかりでなく何時ソ聯の監視船に拿捕されるかわからず中々苦労が多い。此の時に是非欲しいものは無線と方向探知機であります。 無線があれば根拠地と絶えず連絡が出来、鮭鯛の好無線があれば根拠地と絶えず連絡が出来、鮭鯛の好にとする人工で、見渡す間間を付して、一〇〇哩の海上流で、見渡す間を出た。

に於て一度視察して欲しい。派遣して欲しい。又市としても其の苦労の現況を現地民約八○○名の種々斡旋の為め市から一名位指導員を民約八○○名の種々斡旋の為め市から一名位指導員を

た発電別

完成

由緒記を続いている。 納言佐伯有若左衛門有満と 敬冠註の大徳寺 を志賀京四 条大

次号につどく

京・一年明治天皇北陸東海御皇北陸東海御 京・十一年明治天 三・北陸東海御 上の寺の一堂が使用され、 大の儘を忍ぶに充分な保存 で為されている。 で為されている。 で、のはなるので、第五十 大世順覚法師原述、第五十 大世順覚法師原述、第五十

ぬべし。」と んと欲せば、 「汝失らところの白鷹を獲 辰己の方を尋

では、東西之を求めたが で、東西之を求めたが で、東西之を求めたが で、東西之を求めたが 間もなく飛翔する所不明と

県の奨励により県下に実施 が取した和牛の市内に於けた が取した和牛の市内に於けた。 を生産状況は、昨年三十頭であって、更に県外より導たとして先進地鳥取県よりまた。 であって、逆に場外より導いたのであります。これは、ただのであります。これは、110頭に及ります。これは、110回に及び、110回に及び、110回に及び、110回に入り、110回に入 がするし、優秀なものが生 のは鳥取のものより見劣り るのであるから、将来松倉、けの適地は充分に見出し得 必要があります。 片貝、上野方等山野におい り、標高二五○から三○○林道にて約三粁の地点にあ 西布施地区日尾の部落より て放牧場設置の可能である 更に放放場の計画を進める ところは多いのであるから れたのであります。魚津市 現在設置した放牧場は、 市内の和牛の自給を図り 昭和二十三年住宅調査を 実施して以来住宅の現在戸 教及び居住密度に関する資 村が整備されていないので 市部について住宅統計調査 を行い、これらの事項と共 を行い、これらの事項と共 を特に住宅の内容、設備及 るのであります。 策の基本資料としよりとす 状況を把握して、 ることによつて住宅不足の 計画及び生活改善等の諸 調査の時 住 調査の目的 宅調査

前零時現在 昭和二十八年九月一日午 調査の範圍

る調査単位について調査す合で抽出し、その地域にあ市の地域を三分の一の割

奈良、京都の 奈良、京都の 奈良、京都の

都の古刹を尋ねたかれてあるので、側の屛の壁に白い

います。 調査は調査員によつて行

感じを强め

る。

緑濃い茂みの中

期

調査の方法

がある。 これ 見える所、

れ即ち慈興院大 緒深げな一古刹 右手に少し入り

平均收入。

宅を含む)及びこれらに居 宅(住宅以外の人が居住し 宅(住宅以外の人が居住し 住する世帯について調査す 調査 Ø 事 項

建物について……種類、建物について……種類、 世帯上の氏名、世帯数及び世帯主の氏名、世帯数及び

しますから何卒御協力を願調査員が各家庭を訪問して調査票に記入での間に実地調査のため、 います。 準備調査を行います。 ら八月三十一日までの間 調査員は八月二十九日 九月一日から九月十日ま お願い 御協力について

0

大寺御小休郎 と筆深く初 るで建てられ 明治天皇 影 所持



郡保の伏山の邸館、布施之宝二年九月十三日当国新川宝二年九月十三日当国新川宝二年出国新川 其の白鷹を借り、片貝川原為さらとして、父に請ふて に出て之を放つた。 院に入る。 を愛飼した。に止る。有若非常に喜び之 たつて、有若の拳へこぶし)から、一羽の白鷹が飛び来 或る日辰己(たつみ)の方 日有頼は鷹野の遊びを 然るに

り四条大納言佐伯有若をし 陀如来が立つて曰く。「今よ での条と、一句のでは、阿弥 国家当に安穏なるべし。」とて越中の国を領せしめば、 十年程前二月十六日の夜る 七〇二)今から一千二百 文武天皇大宝元年

遙か、ちらほら 貝川堤防上の老

曹等の諸施住宅建設

松並木が、された。 松並木が、された。 松並木が、された。 松が、された。 松が、された。 松が、された。 松が、された。 松が、された。 といった。 とい。 といった。 といった。 といった。 といった。 といった。 といった。 といった。 といった。 とい。 といった。 といた

たること約二十分不合バスは、国道

駅を発車した小

有の関係、設備の関係 有の関係、設備の関係 抽出に該当した世際について……建築の時期、所 有の関係、必要時期、活型 大空、必要時期、活型 大空、必要時期、活型 大空、必要時期、活型 大空、必要時期、活型 大空、必要時期、活型 大空、必要時期、活型 大空、必要時期、活型 大空、必要時期、活型 大空、必要時期、活型

の国司となし賜う。詔(みことのり)し 一(みことのり) して越中そこで帝は直ちに有若に

8 月

しの委託をしなければならに売り渡し、若しくは売渡は受託連合会或は協同組合

●水稲品種比較研究蛇田興農会 高島信作

蛇田興農会 高島信作より優良賞が授与れさた。

点の内次のクラブ員が市長実施したところ、出品一六 参加して圃場の巡回審査を

ー、分蘗は三四本、 り少ない。

例年よ

P

٤

二化螟虫も秋に虫が出

は驚いています。

ないことになりました。

なほ集荷累進奨励金につ ては昭和二十八年七月三

●養鶏の研究

しますが、それ以後の分にを完了した数量に対し交付

いては交付されないこと

住吉農研の品

会 石坂幸吉

但し次の二ヶ所は

魚津市大字田方町〇〇番地

公の文書に御書き下さい。

大字何々町の名称を附して

十一日までに政府買入手続

● トマト栽培の研究 ● トマト栽培の研究 ・ 松倉耕安会 窪島清作 ・ 松倉村安会 窪山後夫

記の通り御知らせします。

しい大学の呼方について左

路〇〇番地(以上は町が不

魚津市大字東小路、臼屋小

要)右の通り魚津市の下に

魚津市「旧魚津町」の正

大字の名称について

月三日までに政府の売渡又まで延期し、当該業者は九

ることの出来る期限を、

月三十一日と定めてありま

たが、今度八月三十一日

制度により、

特別指定集荷

二十七年産米の特別

業者が生産者から米穀の売

や、売渡しの委託を受け

を審査のため、去る七月十 内4日クラプ員の研究実績 農業改良に努力している市明るい農村を築くために

今年の立秋頃の作柄はど の不作の状況で視察者一同 に回り、作柄の状況に でいて第二回目の検査を行 いました。その結果予想外 の不作の状況で視察者一同

七日4日クラブ員六○名が

期限までに納めましょう

来る八月十七日から保健指導のため

ますから 其の他の地区は各小学校

所から通知があります。 おちゃんは漏れなく診査 赤ちゃんは漏れなく診査

旧魚津町地区は大町、の間に各支所毎に

村木

十一日までの間に生れた 本年一月一日以後五月三

t=

0

特別集荷制度

月三十一日

まて

プロジトエク市農村靑少年クラブ

Ó

作

柄

は

|| 圃場審査会開催さる||

八月三十一日まで

0

健 康

診

查

広

北 経済視察

VC

津市議会議長 関 口 弥

じます。

業、工業各方面に亘り成功を受けましたが、農業、漁 でした。 十万人ですが、その内の一 中方キャ米で総人口四百四 く先々に郷土人多数の歓迎 ということで、あちこち歩 も我が日本に残された唯一 北海道こそ敗戦後におけ 割以上が富山県出身である る北海の荒海を眺めて渡道 赤ちやんの健康増進並に 北海道は面積約九万八千 赤 5 小学校

報

かの広漠たる原野と洋々たでありましたので草窓から渡ったことは今度が初めて しく感じました。 北海道の 本当に心强く且つ非常に親 が多数あることを聞いて は目下の我が国の食量寸度増産の拡充强化を図ること がありますので此の開発はだく〜広漠たる未開発土地 がら驚嘆いたしました。ま その規模の大なるに今更な せて早急に実現して、 既懇地の土地改良事業と併 況は内地のそれと比較して る耕地を有し、その経営状 は、御承知のように広大なであります。北海道の農業 と云つても過言ではないのによつて重きをなしている 農業、漁業等は、わが県人 我が国の食糧対策

ませんが、 ている北海道の役割は非常要なことでこゝに果せられ上から考えて見ましても重 れば徴々たるものかも知れ に大きいことを痛感しまし

います。 ましても外糖に十分対抗し確立という点から考えて見 護助長策が必要であると思 て生産し得るよう恒久的保

つて対策に苦慮されていま要失と漁業人口の増大によ 漁業開発は、終戦後漁場の 三国の漁業協定に基づく次に漁業ですが、日、米 北海道水産業殊に富

一外を失つた日本としては、 た概要ですが、要するに海 以上は視察によつて感じ

市民体育大会開催

소

四日日

市議会建設委員会及び厚

生委員会開

がありますから が良いと思いま 内地からど し

分家入植であり 植者は主として 然しこの入

ますが、現在で 相よりも道内の 希望者が圧倒的

面に亘り出漁、入植の計画面に亘り出漁、入植の計画等に先進者多数を擁しておまているという事でした。 で昨今計画中ので、なほ最近耕地るそうです。なほ最近耕地るそうです。なほ最近耕地るそうです。なほ最近耕地 的な発展対策を考えねばないます。 植希望者がとみに高まつて ₹

源開発事業(出力二四、八層雲峡(石狩川上流)の電 も非常に盛んで私等一行は ○○キロW、工費二十四億源開発事業(出力二四、八

海 消 漁 場 爾

頼もしく感じました。いておられることを見受け きな期待と希望を持つて働 えていることは勿論で、釧って、正に明るい希望を与 つて、正に明るい希望を与山県からの多数出漁人にと で漁業の将来について、 路市において漁業に従事し したが、みんな非常に喜ん ている郷土人多数に会いま 北海道における電源開発

> 七月二十六日から八月十日まで 100 ない 日赤富山支部社員総会に

> > 魚津市青年團

九

水

月

日日

現

在

円)について観光と関係の の規模の偉大な事に驚かさ 中のもので出力十一万三千 中のもので出力十一万三千 電工事が進められていると いらことでした。 市予選並びに第二回魚津第六回県民体育大会魚津

北海道にはまだ 市蔬菜振興委員会開催 二十七日(月)

福島労働省監察官、開催 魚津地区市勢振興委員会 文化財保存会理事会開催 下中島地区市勢振興委員 会開催 二十九日(水) 二十八日(火)

業対策事業監査のため 三十日

(未)

県え陳情

び橋梁改修促進方につき 市議会建設委員、県道及

Ξ,

受講者

-

後援

失

仝

六日 (木)

仝

五日(水)

式に寺田助役等出席東化工片貝谷発電所竣工

₹

主催

地方財政懇談会に

に出席

-

期日

一、場所

自治庁主催「町村合併と 業集地視察のため来市

務所長早月川合口用水事 木村農林省常願寺建設事

八月一日(土) を大岩で開催を大岩で開催 博」座談会に市長出席北日本新聞社主講「富山 下中島青年学級開催式 三十一日(金)

소

八日(土)

民

謡

仝

七日

(金)

稲作状況調査を実施 六日、七日の両日管内の

上中島地区敬老会開催

公聴会」に 魚津市壮年団主催「市政 田田田田 市長出席

放牧場開きを西布施白尾 地区で開催

二、出穂が稍々おくれてい 三日 月

仝 遺児激励会を西部中学校定例市教育委員会開催 で開催 視察のため来市 福島県喜多方町長等行政 市議会建設委員協議会開 十日 (月)

んやい

ンヤイ

に踊る老若男女の

めませら。 ないと保有米もとれな

病害虫が多い

二化螟虫や黒椿象、黄化稲熱病が一番多く、外に病害虫の被害は 萎縮病などが出ておりま



さあ皆さんらんと防除に努 い農家が出来ると思い 代の民謡として親しまれて南北朝時代頃より伝はる古

口 四 六 九

統計 死 出 亡 4 女男 四四 九七 八六人 三六人 DC 組

日まで実施

ますから御

尚夜間開

一、とき コンサー

一、ところ

よう。けに価値あるものとこにくいものだが、それ

定期(五十

四回)レコード

は多分に予想されるこ

五日の全国向放送される。からこれを録音したが、十た「せり込み蝶六」にNHK 踊をなしたものゝ様で、そ は無聊を慰めるためにこの る十一日火宮に於て行は て今日に至つているが、去 の後幾百年の間の変遷を経 を実施して. 中のらだる 御好評を得 七月二十

夜間 実開 にのつ

います。学がれ読書を はなるべく 刊書の整理 私達館員 れたらよろ く午前中を利用さ 学生生徒の皆さん がには図書館を訪 る暑さは海へ、夜 得ております。日 得ております。日 であります。日 であります。日 同も張切つて新 しいでしよう。

●催しもの御案内 脱いたします。 脚待下さい。

するため、市青年団幹部と 開かれる。 団体的生活訓練を通じて体 望されている時、之を促進と、その自主性の强化が要 する有能なる指導者を育成 して、必要な教養と技能を 素朴な歌詞、音頭に社寺 ヤサーソーサヨイカノカ 市青年団体の健全な発達 なんでもお蝶六のぞみか NHK全國放送 せり込蝶六 者 現在団の指導 と当る者 市連青 二十日 (二)泊三八月十八、十九、 市教育委員会 光学坊 県教育委員会 西布施小川寺 金一、七一〇円 金二五〇円 佳吉 金二五〇円 港区 金六七五 下 金九八〇円 金十、〇〇〇円 金七五五円 経田支所管内衣類三七点 〃 金七六〇円 新上一区町内 青島社宅小供クラブ 金 金一、一四 金三、六三〇円 衣類六一点 金八〇〇円 一、五 一、八〇 一七点 下新三区町内田方町常薬みち子 神明二区/ 餌脂川町 新上一区町内 明理区・ 田方町一区ク 青島社宅ク 神明一区町内 新金屋三区ク 沖田区 ク 下新一区町内

だ館り

Ø

b

累計金一三〇、三八五円

計金九二、四〇五円

衣類六一点

金二、五二〇円 の 金二二四〇円 金一、六六五円 金一、四七〇円馬出町 金三、〇四五円 金一、七一〇円 金一〇。四一五は 金一二七〇円 金一一、二二五円 金二一、一四七円 金八、七六五円 金五、〇八三円 金二、〇四〇円 下野方支所管内 上中島支所管内 下中島支所管内 西布施所支ク 下タ町 道下支所 新屋敷 金屋一区ク 新金屋一区ク 下野方支所ク 上野方支所々 町 町内 11 内